

二度の世界大戦と日本 ～第一次世界大戦と日本～ 活用編①

☆教科書，資料集などを使い，問題を解いてみよう！

第一次世界大戦・ロシア革命

《資料 1》 第一次世界大戦での被害と戦費

	国名	動員兵力	戦死者	直接戦費
連合 国側	ロシア	1200万人	170万人	226億ドル
	フランス	841	136	243
	イギリス	890	91	398
	アメリカ	435	12	226
	日本	80	0.03	0.4
同盟 国側	ドイツ	1100万人	177万人	378億ドル
	オーストリア	780	120	206
	トルコ	285	33	14

《資料 2》

《資料 3》 兵器工場

- ◆《資料 1》を見て，次の①～③にあてはまる国の名を書きなさい。
- ①連合国側で，動員兵力と死者数が最も多かった。 答. ロシア
- ②連合国側で，戦死者は極めて少なかったが，直接戦費は多かった。 答. アメリカ
- ③同盟国側で，動員兵力・戦死者数・直接戦費の全てが最も多かった。 答. ドイツ

◆第一次世界大戦の特徴について，《資料 1》《資料 2》を参考に，「連合国」「同盟国」「被害」という語句を使って書きなさい。

答. 新兵器が登場し，連合国と同盟国の両方にとって被害が大きかった。

◆第一次世界大戦が総力戦と言われる理由を，《資料 1》～《資料 3》を参考にして書きなさい。

新兵器が使用され，死傷者の数が非常に多くなったことや，各国が女性や植民地の人々をはじめ，経済，資源や科学技術を総動員して国力を使い果たした戦争であったから。

- ◆次の文を読んで後の問題に答えなさい。
- ・ロシアでは，レーニンの指導の下，史上初の社会主義の政府ができた。
- ①この出来事の名称を答えなさい。 答. ロシア革命
- ②①の出来事後，イギリス，フランス，アメリカ，日本などがシベリア出兵を行った。その目的と結果を，説明しなさい。

社会主義の影響が拡大することを防ぐために出兵を行ったが，労働者と農民を中心に軍隊を組織した革命政府が勝利した。

国際協調の高まり・アジアの民族運動

- ◆1919 年にフランスのパリで開かれた講和会議で戦勝国側とドイツとの間に結ばれた講和条約について，あとの問いに答えなさい。
- ①この講和条約を何というか。 答. ベルサイユ条約
- ②次の地図ア，イのうち，①の条約が結ばれた後の地図を選び，記号で答えなさい。また，それを選んだ理由を説明しなさい。

ア

イ

記号： イ
 理由： ドイツの領土が縮小し，東ヨーロッパで多くの国々が独立しているから。

- ◆右の《資料》について後の問いに答えなさい。
- ①《資料》は，アメリカのウィルソン大統領が唱えたものである。《資料》中の下線部 a の原則を何というか。 答. 民族自決（の原則）
- ②《資料》中の下線部 b の考えに基づいて設立された国際組織を何というか。 答. 国際連盟
- ③②は，問題点が多くあった。その問題点を挙げなさい。

《資料》 十四か条の平和原則

- 1 公正な外交を行い，秘密外交を廃止する。
- 5 a植民地における諸民族の発展は，自主的に決定できるよう保証する。
- 14 b諸国家間に政治的独立と領土保全を目的とした国際平和機構を組織する。
(部分要約)

ヨーロッパ以外の民族自決が考えられておらず，アメリカやソ連などの大国の不参加や，軍事的な制裁権がなかった。